

第3回 防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略専門会議 議事録

■開催日時・場所

平成 27 年 8 月 28 日（金）14 時 00 分～

防府市役所 4 号館 3 階 第 1 会議室

■議事

1. 「防府市人口ビジョン（素案）」について
2. 「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」について

■配布資料

	資料名	番号
1.	防府市人口ビジョン（素案）	【資料 1】
2.	防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）	【資料 2】
3.	『防府市まち・ひと・しごと創生』市民提案	【資料 3】
4.	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金対象事業 【地方創生先行型・上乗せ交付分】	【資料 4】
5.	日本標準産業分類（中分類）との対照表	【参考 1】
6.	(18) - 2 通勤状況（平成 22 年） (18) - 3 通学の状況（平成 22 年）	【参考 2】

■会議風景



■出席者名簿

敬称略・順不同

	分野	所属団体・役職	名前	出欠
委員	教育	山口大学（大学院技術経営研究科 技術経営専攻）教授	【会長】 稲葉 和也	出席
		山口県立大学（国際文化学部 国際文化学科）准教授	【副会長】 進藤 優子	欠席
	産業	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	出席
		防府市農業委員会 会長	藤井 伸昌	欠席
		一般社団法人防府市観光協会 理事	鈴木 宏明	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所長	古谷 将 (代理) 田中 洋一	代理 出席
		西日本旅客鉄道株式会社 防府駅長	岡田 裕哉	出席
	行政	防府公共職業安定所 所長	大野 正幸	出席
		山口県民局 局長	金子 大	出席
	教育	山口短期大学（児童教育学科）准教授	手島 史子	出席
		防府商工高校 教諭	黒川 康生	出席
	金融	山口銀行	田辺 一政 (代理) 藤村 義孝	代理 出席
		東山口信用金庫 本店長	三田 浩士	出席
	労働	連合山口県央地域協議会 委員	山根 浩二 (代理) 古都 昇	代理 出席
	言論	山口放送株式会社 ラジオ局長	黒瀬 哲哉	出席
	住民	特定非営利活動方針 コミュニティ友志会 代表	松永 朋子	出席
		防府市PTA連合会母親委員会	細野 美幸	欠席
防府市自治会連合会		石竹 和歌子	出席	
事務局	副市長	中村 隆		
	総合政策部 部次長	原田 みゆき		
	総合政策部総合政策課 課長	白井 智浩		
	総合政策部総合政策課地域創生総合戦略室 室長	桑原 明哲		
	総合政策部総合政策課地域創生総合戦略室 副主幹	持溝 秀昭		
	総合政策部総合政策課企画係 主任	田中 利明		
	総合政策部総合政策課企画係 主事	飯分 徹		

■議事録

1. 開 会

(事務局より開会の宣言と資料の確認)

2. 会長あいさつ

会 長 | 本日の会議は第3回目となる。具体的に、人口ビジョンと総合戦略をブラッシュアップしていく。忌憚のない意見をお願いする。防府市にとってよい戦略、内容を作成していきたいと考えている。

(事務局より進行を稲葉会長にわたす)

会 長 | 本委員会は原則公開となっているので、第3回の会議も公開で進めたいと思う。また、協議内容はホームページで公開するので了承をお願いしたい。議事にある「防府市人口ビジョン（素案）」について、事務局から説明をお願いしたい。

3. 議事

(事務局より資料1を説明)

会 長 | 資料1、防府市人口ビジョン（素案）について、委員の皆さんのご意見を頂きたい。ないようであれば、先に資料2について事務局より説明をお願いする。

(事務局より資料2～4を説明)

会 長 | 資料2、防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について、委員の皆さんのご意見を頂きたい。

A 委 員 | 3回目を迎え、地方創生において、地域の特性を活かしたよいアイデアを出すことが重要である。当会議でこれまで三田尻港を中心とした活性化を図ろうと発言してきたが、具体的にいつ、どのように進めていくのか。防府市の市街化調整区域の見直し、規制緩和を通じた産業の振興、企業誘致を進めるための用地確保などの具体策は計画には出さないのか。コンパクトシティについては勉強会を通して意見交換をしており、市庁舎の建設地の問題、幹線道路をつくることによって住宅などを集積したいなどの具体的な議論をしている。

事 務 局 | 民有地を活用した企業誘致も視野に入れている。具体化した段階で盛り込んでいきたいと考えている。都市計画の見直しの話も言及していただいたが、都市計画で現在

議論をしている庁舎についても大きな事業になるので、担当部署を通じて慎重に議論を進めている。さまざまな案が出ているがまだ記載できていない。具体的に実行できる内容が出た段階で新たに位置づけ、国の交付金も活用できるところは活用していきたい。皆さんの提案をいただきながら事業を深化させたいと考えている。

A 委員 産業振興については財源のこともあると思うが5年の中でいつ具体化するのか。市の今後5年の計画の中で具体的なものがあるほうがいいと思う。掲げないことには本当に実現するのかなと思う。いつ実現するかわからないけれど、やっていくことを決めて中に盛り込んでほしい。将来の夢や希望を託す中で、これをやりたいという意気込みを入れていくことで国に理解してもらい、よき理解者、支援者が生まれるとなお街は活性化すると思う。

事務局 事業の精度を高くしていき、国の交付金を入れてもらえるようお願いしていく。まずは全体を国に提出して、その方向性の中で財源をとりにいき、具体化をして、それぞれの連携主体と詰めた事業を出していく。

B 委員 総合戦略の冊子は今後どう活かされていくのか。防府市ならではの特色を活かし、本気度をアピールするものと認識していたが、それが伝わってこない冊子になっている。何を伝えたいのか、何がやりたいのかが伝わってこない。メリハリをつけた展開にしたほうが良いと思う。

C 委員 KPIについて、国のヒアリングはあるのか。

事務局 ヒアリングはない。市として戦略を立てて推進と実現を目指し、検証して、目標に掲げたものを達成していきたい。項目の中から国の交付金や補助事業をとりにいきたい。全てもらえる訳ではない。来年度予算は1,080億円となっている。あくまで国は自立を促しているのでも市としてできることをやっていく。特色が弱いと指摘があったが、新しいアイデアがあれば盛り込んでいきたいが、大きな軸の中で積極的に取り組みたい事業を掲載した。他の市に比べたら絞っており、またご意見があればいただきたい。

C 委員 新規の雇用創出数が600人とあるが、具体的なことがないのに600人の創出はハードルが高いのではないかと。

事務局 現在、調整中であるが、県の作成した計画に防府市は年間80人の雇用創出目標が掲げられている。それを参考にし、創業支援、新規就業者、テクノタウンの従業者等を併せて600人にしたいと考えている。

B 委員 防府市の特徴として三田尻港の活用があるが、他の市にはできない防府市ならではのものを目玉にし、メリハリを出すというのではないかと。三田尻港の賑わい創出も

磨き方によってはもっと活用できることだと思う。表現の工夫をしてみたら良いと思う。

会 長 | 総花的なところはあるが、個別で見れば光るものは含まれている。そもそも創生戦略の一番大事なテーマは出生率を上げること。防府は平成 25 年の出生率が 1.76 と非常に素晴らしい。可能であれば人口が減らない数字である 2.07 を掲げてはどうだろうか。出生率 2.07 を掲げれば防府から持続可能な地域社会をつくっていく、という目玉になる。そこから働く場、労働条件を整える、教育と全てをやっているストーリーができると思う。

A 委 員 | 出生率 2.07 は大変良いことだと思う。防府の人口が減らないのはマツダ、ブリジストンなどがあるから。そういったことから臨海部に製造業がさらにはりつくことを推進していく。交流人口も増やしていく。賑わいで出生率 2.07 を実現していく。新しい試みをやりながら人口が減らない努力をしていくことにより、雇用の機会や出生率アップを図る。防府はこれでいくというものが無いと響いてこない、インパクトがないと思う。

D 委 員 | 総合戦略は市の指針となる計画になる。その下にさまざまな計画があるので、総合戦略が特色的な方向性を出してしまうと下が動きにくくなるのもわかるが、基本的な方向性があると市民にもわかりやすく取り組みも見えてくる。総花的になっているのは国がどんな事業に交付金を出すか自治体もわかっていないので柔軟に対応できるような計画をつくらざるを得ないが、将来的には自立していかなければならない。それをはっきり示すことはとても大事になってくる。

事 務 局 | 子育てと地域の教育力、廃校を出さないという強い思いで三世代同居、小中一貫、区域外からの通学といった防府市のことを考えた取り組みを発展させていきたい。出生率 2.07 はインパクトのある数字だと思うが、それを含め人材の集約という方向で進んでいきたい。

A 委 員 | 子育てに関する経済的支援は良いことだと思うが、産業振興についても地域経済の活性化があるので同じように具体的に進めてほしい。

E 委 員 | 2 回目の意見を聞き、市民の目に入りやすい表現になったと思うが、優先順位を計画書の中に盛り込むべきである。そうすればもっとメリハリがつくのではないかな。

事 務 局 | 5 本柱に優先順位をつけるのは難しい。

E 委 員 | 基本目標 1 ～ 5 は同じレベルの優先順位なのか。番号順なのか。3 ページ以降の細かい事業の中でどの優先順位が高いのかを表した方がわかりやすいのではないかな。数値目標は 5 年後の人口推計と合うのか。

会 長	人口推計と合わせているので先程の 2.07 の数字は無謀な数字で人口ビジョンを否定している。
事 務 局	全てやっていきたい事業になっている。それぞれの課が思いをこめて予算をとって掲げて準備をしているので、この中で優先順位はなく、個々に掲げた事業ということで理解していただきたい。
F 委 員	国も成功するものにお金を出し、成功例を出していきたい。国に後押ししてもらえそうな、絶対に成功すると思わせる資料にしていかなければならない。出生率 1.76 は何故保たれているのか、今の数字の分析がされていない。80 人の雇用数にしても内容を示すべきだ。根拠のある数字を示していけば成功する印象になってくる。内容のある資料にしていくといいと思う。
事 務 局	出来る限りの分析はしていきたい。モデル事業としては、地元や企業等との連携した事業が必要になると考える。総合戦略の項目一つひとつを深掘りしていく必要がある。
D 委 員	情報提供であるが、商工会議所の産業戦略委員会での項目も梅の花になぞらえて安心・育成・支援・仕事・つながりの 5 つの意味がある。総合戦略の基本目標も 5 つあり、似通った内容となっている。
A 委 員	商工会議所も色々と取り組みを展開している。商工会議所の提言等を使える部分は使ってもらい、意見があれば言ってもらうなどして進めていくべきである。市役所も様々な議論により総合戦略を作成されているが、民間レベルでの意見や思いも反映させてほしい。承認、承諾だけではなく、ここで出た様々な意見が役に立つよう、柔軟にお願いしたい。
G 委 員	各委員からインパクトのあるものが必要ではないかという意見が多々あるが、事務局側では、各基本目標 1 から 5 に対して、核となるような事業を出していくという理解でよいか。
事 務 局	84 本の事業をそれぞれ推進していくとしている。
G 委 員	84 事業を同じ力の加減で進めていくということではなく、基本目標に対し 1 の核はこれであるという風に理解していたが、そうではなく、84 項目全てにおいて同じなのか。
事 務 局	金銭面や人材等の問題もあるが、若い世代では 9 ページに示した正規雇用の促進、婚活セミナーの開催等様々あり、濃淡が違いますがそれぞれをやっていく。

- G 委員 | この会議において、何かしらの目玉を出そうという話をされている。こちら側と意見があっていないと感じており、そのままでは議論が進まない。核となるものを出すのか、それともこの状態でいくのか。不明確である。
- 事務局 | 戦略の中では、目指していくところは、人材育成を少し大きな旗印として集約していく。84本のどれを欠いても意味がない。全体の仕組み、資金をこれから獲得できるように連携していきたい。形成された事業を推進していく。全て実行するとなると、多様な連携、協議をする場をつくりながら深化させていきたい。
- 会長 | 84本は並列である。国からのフォーマットが決まっている。
- G 委員 | 並列であれば、委員からの要望はどうなるのか。
- 会長 | 苦しいながらも順番を替えるなどで対応している。現実的にはメリハリが出てくるのではないかと思う。
- B 委員 | 9ページ以降は説明であり、8ページまでをどのように見せるかが重要である。優先順位はなく、バランスを取りながらわかりやすい言葉を使用し、ページをどのように見せるかが大事である。市民にわかりやすい順番もあるだろう。8ページまでの見せ方をさらに工夫することで、よい結果につながるのではないか。いかに本気度を見せ、防府市の特徴を盛り込む工夫が必要である。
- I 委員 | 防府市は、大変恵まれており、産業資源、観光資源、農業、漁業もある。出生率もさほど悪くない。恵まれた中で、防府市はこれを目標にするということをしつかりしていくことが、今回の課題であると思う。しっかりと人材を確保し、地域をバックアップすることが重要である。
- 事務局 | 何よりも大事なことは人材である。表現の部分、いわゆる見せ方を検討していきたい。
- A 委員 | 今まで産業振興は弱かったのではないか。もう少し地域経済、ビジネスを推進するための方策も打ち出していくべきではないか。博多などおしゃれなウォーターフロントがあり、それらを研究や視察してはどうか。子育て支援や財源の問題もあると思うが、同じ様に、将来への投資や研究にも財源を使ってほしい。民間事業者が寄ってくるような、よい循環になるのではないか。官民一体となり、ウォーターフロントをどのようにしていくかを考えてはどうか。道の駅においても、人を集客するには相当力を入れる必要がある。そうしたことにも、市は後押ししてほしい。国は、強い産業、ハブ企業を見つけ、大きくする手立てを求めており、防府市も必要だと思う。地域分析をしつかりとし、商工会議所を中心に進めていきたい。

事務局	現時点で方針が決まっていないものを戦略に入れ込むのは難しい。積極的な産業振興も戦略を作成した後、項目内に具体を入れていきたいと考えている。
A 委員	それでは時間がかかるのではないか。民間にも知恵や感性があり、それらを取り入れるような仕組みにしなければいけないのではないか。スピードや他の町との競争だと理解する必要がある。
F 委員	20 ページに「ブランド総合研究所による地域ブランド調査の認知度」では 438 位とあるが、目標値が 300 位以内では目標が低いのではないか。下関市の順位は 51 位、萩市は 59 位である。
事務局	全国約 1,000 都市の中の順位であり、高い位置とは思っていない。防府市の知名度がないと肌で感じている。“幸せます”のまちをキーワードとして進め、少しでも知名度を上げることができればという思いで、目標値を設定している。
F 委員	県内で 1 位、せめて 50 位以内になってほしい。
I 委員	インドの子供達は、第二外国語として英語が話せ、第三、第四言語等もある。日本全体ではそのようなことは難しいが、防府市でそのような特色をつくるのはどうか。海外からの観光客への対応、さらにインバウンドにも対応できるのではないか。人材育成の箇所でも盛り込んでどうか。
事務局	人材育成の防府市を知ってもらい、防府市を愛し、貢献していただく方を育成していこうということが、大きな目標である。英語教育の特色は、教育委員会等で工夫していく。英語は山口県でも力を入れており、英語による交流等も検討している。
J 委員	総合戦略の素案を読み、人材育成に子育てと教育に力を入れているという印象を持った。なかなか子どもが産めないのは、子育てや教育にお金がかかるという理由が第 1 位である。雇用の安定により家庭にお金が入るという意味では、産業振興にも力を入れないといけないが、小学校 6 年生までの医療費無料化は非常にインパクトがあった。小学校、中学校を統廃合せず、守っていくことも重要である。産業振興も併行して進めるには、資金が必要であるため、子育てや教育に関する資金の削減等が出てくるのではないかと心配している。
事務局	総合的に行っていきたい。産業が発展しても働く場の環境が悪いとダメであり、生活の中で余暇も楽しめるような生き方も大事である。雇用の面も、職業安定所と連携し取り組んでいきたい。
J 委員	商工会議所とも話し合い、市の調査もお願いしたい。

G 委 員 | 情報提供である。他の子育て支援をされている NPO 団体とも連携し、一部の方に子育てしやすい、産みやすい、育てやすいまちかどうか聞いてみたが、結局、これであるという答えは出なかった。理由はわからないが 3 人家庭が多いということと、いずれは外に出て働きたいという意見が多くあった。求人と求職者をつなぐよう、丁寧なマッチングのような機能も必要ではないかと考える。

4. その他

事 務 局 | 次回の第 4 回会議は、10 月中旬を予定している。詳細は後日連絡する。

閉会